

ブラジル伝道庁 HARP 研修会 出向報告
副委員長 越智 久輝

5月8日にHARP研修会事前研修、9日にHARP研修会、10日に学生層育成者講習会、11日にノルデステ芳洋教会でのHARP研修会を行った。

巻頭言の続きになるが、ブラジルではGAKU参加後、いかに伝道庁や教会につながってもらうかが課題だそう。来年のGAKU3回生の狙いとしては、「おつとめのご守護の源である元の理を学び、おつとめの大切さを知って、今後も伝道庁や教会につながり、月次祭の参拝やおつとめを勤めるようになってもらいたい」との思いを聞かせてもらった。今回のHARP研修会では、それらの狙いをもとに、「おつとめ」をテーマに、3つのグループタイムを構成し、来年のGAKUに向けた参考プログラムを作成した。

メインのグループタイム「こちら、あたりまえ研究所」では、トランプの神経衰弱のようなカードゲームを行い、親神様の十全の守護に触れ、次に、普段の生活の中で、無くては困るものや当たり前と思っていることを書き出し、それらが十全の守護のどの働きに当たるのかを考えた。その後、「親神様のご守護とおつとめの大切さ」というテーマで、パワーポイントを使いながらお話をを行った。

HARP研修会の参加者は、ブラジルの学担やGAKUのスタッフを務める方が主な対象だが、学生やスタッフを送り出す教会長さんや、毎年この研修会を楽しみにしている年配の方などもおられ、伝道庁は18歳から80代までの59名、ノルデステ芳洋教会は17〜73歳ま

での33名が参加した。参加者からは「普段の何気ない日常も、すべて親神様のご守護であることを学んだ」「十全の守護が互いに深く関連していることが理解できた」などの感想があり、特に十全の守護に触れるグループタイムが好評だった。このグループタイムはカードや大判資料の制作などの準備を要するが、十全の守護に触れられる教材を残せたことも一つの成果だと思う。

現地では、ブラジル学生担当委員会の谷尾委員長をはじめ委員の皆様。伝道庁の皆様。誠輝ブラジル教会の皆様。ノルデステ芳洋教会の皆様。ご参加下さった皆様。日本から最も遠い国で、同じ志を持つ多くの教友たちと出会い、交流できたことが何よりも嬉しく、大きな勇みを頂いた。多くの方々の真実のおかげで無事にご用をつとめることができ、この場をお借りして心より感謝申し上げます。



学生生徒修養会 高校の部 送迎実施一覧

「学生生徒修養会 高校の部」において、系統を問わず受講生の送迎を行う予定の教区・直属を報告いたします。各教区・直属の送迎担当者の連絡先を掲載していますので、詳細につきましては送迎担当者と直接打ち合わせていただきますようお願いいたします。

都道府県	教区・直属	送迎担当者	連絡先
埼玉	秩父大教会	野口 英一	担当者の連絡先は 学生担当委員会事務局まで お問合せください
		中畝 康博	
東京	東本大教会	渡辺 茂紀	
福井	福井教区	味美 廣規	
福岡	朝倉大教会	古川 久和	
福岡	西海大教会	阿部 理生	

青空

布教の家東京寮に行かせていただいた時に、90代の男性に出会いました。話をさせてもらっていると、とても気難しい方で、今までケアマネージャーさんやヘルパーさん、訪問の看護師さんなど家に入りするひとは、みんな気に入らずに追い返していたそうです。私が訪ねたときも「いい若いもんが、ふらふらしていいないで、働きなさい」と言われましたが、何度も通っているうちに、おさづけを取り次がせていただくようになりました。胃の調子が悪くあまりご飯が食べられないと言っておられましたが、おさづけを取り次いだ次の日は「昨日はご飯が食べられたよ」と笑顔で話してくれました。

布教に出る前は、自分には知恵や徳分など何もなく、役に立たないだろうと思っていましたが、元気な体をお借りしていること、おさづけの理をいただいていることが、とつてもありがたいのだと気づかせていただきました。ヘルパーや看護師など特別なスキルがなくても天理教のお兄ちゃんとして必要とってもらった日々が自分の信仰の元一日となりました。

人材育成部本部スタッフ 川村 信明

お知らせ

七月例会

期日：立教189年7月25日
時間：15時30分受付 16時開始
会場：東右第四棟4階講堂

学生層育成者講習会

日程・会場案内
直属
・小南部 7月22日 大教会

報告

五月例会

去る5月25日、教庁4階講堂において「5月例会」を開催。出席は32教区、96直属。

各地の動き

教区学生層育成者講習会

・宮崎 5月1日 教務支庁

・愛知 5月31日 教務支庁

中山祥吉委員長出向